



# 成田ともきニュース

発行元 生駒市議会議員 成田智樹 〒630-0244東松ヶ丘7-1-306 TEL/FAX73-8313

## 生駒市議会トピックス

可決して閉会しました。  
平成27年3月開設  
をを目指す生駒市立  
病院については、市  
より、本年度補正予  
算として9億60

議場での採決の結果、賛成多数（賛成16、反対6）により可決されました。  
市議会公明党は、  
成田ともきが当委員  
会委員として賛

負担は一切ない。今後締結する協定書は、指定管理者負担金を確実に収受できる内容とする」との答弁を確認し、賛成いたしました。

### 生駒市立病院建築工事費予算案が可決

生駒市議会の第5  
回定例会は、9月18  
日から10月4日ま  
で開催され、総額13  
億6900万円の  
一般会計補正予算  
案のほか34議案を

00万円、総額で2億3200万円に上る巨額な建築工事費予算案が提出され、市民福祉常任委員会での慎重な審査を経て、最終日

疑を行い、市から「建築工事費および土地賃借料は、指定管理者負担金（毎年の減価償却費相当額）と国からの交付金により賄え、市の

生駒市議会公明党の議員3名は、8月6日に生駒市の早川英雄教育長を訪問し、市内の学校における、いじめの実態およびその防止対策の現状について懇談するとともに「いじめ防止対策強化を求め、いじめ防止、いじめ撲滅に向けて、より一層の対策強化に取り組む

よう要望いたしました。具体策として、将来を担う子ども達の健全育成のため、また、保護者が最愛のわが子を安心して学校へ通わせることができる環境を形成するため、いじめ問題の対応について、市民・保護者への周知を図る。いじめの実態を正しく把握するため、積極的な実態調査

生駒市教育委員会は、この要望を重く受け止めて、夏休み明けに県内で一斉に実施された「いじめに関するアンケート」において市内

## 生駒市のいじめ対策が大きく前進！

「いじめ防止対策強化を求める要望書」を提出



早川教育長に要望書を提出

の児童・生徒1316人が、今年4月以降に「いじめられたことがある」と回答した事実を明らかにするとともに、そのうち「今もいじめられている」と答えた411人について「全て調査して指導し、保護者らと協力し解決した」と9月28日に発表しました。

市議会公明党は、今後の経過を見守るとともに、引き続きいじめを決して許さない、健全な地域社会の構築のため真剣に取り組んでまいります。

### 決算審査の開催時期・方法を変更

また、本年度から決算審査特別委員会を9月定例会議会会期中に開催（昨年度は11月）、翌年度の予算編成に審査結果が反映される日程に変更しました。また、市の主要8事業を抽出し、生駒版事業仕分けを試行的に実施いたしました。

生駒市議会では、本会議場での審議等の模様は、すでにインターネット配信（同時・録画中継）されていましたが、情報公開を進めるとの観点から、今回の定例会より、委員会の審査の様態も配信が開始されました。インターネットにアクセスすればどなたでも視聴可能です。

### 議会改革情報

委員会審査のインターネット配信開始

## 成田ともき 活動トピックス

辻町シニア元気クラブ様主催  
「防災講話」に参加

8月9日、辻会館において開催された辻町シニア元気クラブ様主催の「防災講話」に参加し、司会を務めさせていただきました。防災意識啓発のためのDVD上映の後、生駒市危機管理課より「生駒市の災害対策について」と題しての講演がありました。参加者のみなさまはたいへん



熱心に耳を傾けておられました。

桜ヶ丘幼稚園東側T字路に  
カーブミラーを設置

桜ヶ丘幼稚園東側T字路は、幼稚園児の散歩コースとなっていますが、一方通行でやや見通しが悪く、保護者や地域のみなさまから「このままではいつか事故が起こりかねない」との声が寄せられていました。成田ともきはこの声をうけ、市の担当課に対応を要望していましたが、このたび地元自治会との協力によりカーブミラーの設置が実現いたしました。

平成24年9月議会  
成田ともきの一般質問(要旨)

## 介護予防事業について

答

要支援・要介護認定への移行を防ぎ、可能な限り自立した生活を送れるよう支援する事業として、一定の

問

前期(第4期)の介護保険事業計画における介護予防事業について、どのように評価しているのか。

本年、介護保険料が見直され、65歳以上の市民のみなさまが支払う保険料の基準月額が4570円に増額改定されました。これは、平成12年の制度開始時と比較して50%、前期から6%の値上がりです。高齢化の進展により今後も保険料の増加が懸念されるなか、強化が期待される生駒市の介護予防事業の取り組みについて市に質しました。

答

参加者や対象者の増加に対応できる体制を整備している。昨年度からは脳の若返り教室、物忘れ相談事業、生活機能評価の未返送者に対する実態把握事業を実施。今



問 介護予防事業の充実・強化にどのように取り組んでいるのか。

成果があったと考える。

答

現在のところ導入の計画はない。これまで構築してきたボランティアの仕組みを大切にしながら、次期介護保険事業計画の策定に向け、市民ボランティアの在り方を検討していきたい。

問

介護保険料の負担軽減策として、全国の市区町村で導入が進んでいる「介護支援ボランティア制度」について、導入を検討しているのか。

年度からは、生活機能評価の実施結果から、よりリスクの高い高齢者に対して、介護予防事業に参加するよう働きかけている。また新たに福祉支援課に「予防推進係」を新設し、介護予防事業の取り組み強化に努めている。

## 自由自在

山中伸弥京大教授のノーベル医学生理学賞受賞が決定した。氏はここ生駒市の奈良先端科学技術大学院大学において、iPS細胞研究の一步を踏み出した。快挙に心から喝采を送りたい。氏のモットーはビジョン&ワークハード、明確な目的をもって一所懸命に仕事をする。ことと聞く。ビジョンなく懸命さのかけらもなく、『近いうち』の約束を守ろうともしない、党利党略だけの現政権に、氏の爪の垢を大量に煎じて飲ませたい。(智)

12.10.17

## 日本再建 公明党の3つの約束。

「防災・減災ニューディール」で命を守る。  
大胆なムダ削減へ。道州制・政治改革・行政改革  
原発に依存しない社会へ～原発ゼロの日本をつくる～

成田ともきホームページはこちらから

成田ともき

検索